

福井県生活学習館(1/2)

ユー・アイふくい



所在地	福井市下六条町14-1		
設置年月日	平成7年7月1日		
施設の種類	会館	施設管理主体	県
設置の目的	男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延9,322㎡ 多目的ホール・映像ホール・各種学習室・情報ルーム(図書・ビデオライブラリー)・映像制作室		
職員数	職員20人、非常勤嘱託6人 アルバイト2人 計28人		

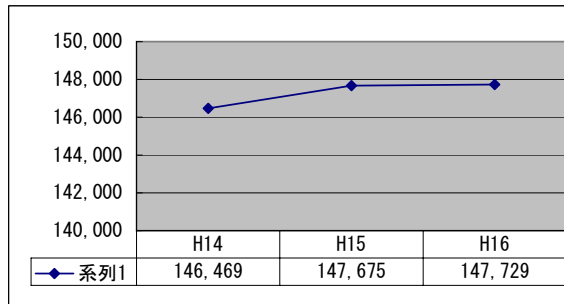
利用状況等

	H14	H15	H16
施設利用者数(人)	146,469	147,675	147,729
情報ルーム利用人数(人)	29,960	32,879	33,492

利用者負担(使用料金)等

多目的ホール、学習室等施設の使用に当たっては条例に規定されている使用料を徴収します。
情報ルーム無料

施設HP「施設利用案内・使用料の一覧」参照



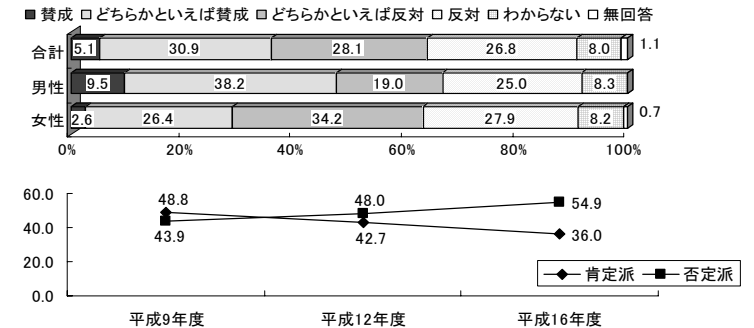
利用状況の推移
平成17年度は生活学習館(ユー・アイふくい)開館10年目にあたりますが、17年3月末で利用者総数は152万人に達しました。
毎年の利用者数は施設利用は14万人台で、情報ルーム利用者は3万人前後で推移しており、僅かですが増加傾向となっています。

16年度の特徴について

事業実績

- 施設の利用実績 H15年度 180,554人 H16年度 181,281人 前年比 0.4%増
- ゆー・あいカレッジの開設
 - 男女が共に学ぶコース
 - 男性コース
 - 女性のエンパワーメントコース
 - 男女共同参画推進リーダー養成講座
 - 地域リーダー数 H14年度 264人 H15年度 284人 H16年度 294人
- 女性総合相談 相談件数 H14年度 1,210件 H15年度 1,389件 H16年度 1,226件
- 女性の生涯学習国際フォーラム開催
- 男女共同参画に関する意識調査実施
- 福井ライフアカデミー(主催講演3 主催講座43 共催講座28 連携講座340)
 - 入学生数 H14年度 9,238人 H15年度 9,374人 H16年度 9,427人
 - 主催講座
 - 親子のあり方について学ぶ 家庭教育講座
 - 地域貢献・地域づくりを学ぶ 地域活動講座
 - ふるさと福井について学ぶ 郷土学習講座
 - 現代的課題について学ぶ 現代的課題講座
- 学習活動促進のためマナビ・フェスティバル2004開催
- 「ネットワークフォーラムin東海・北陸」開催
- 生涯学習相談 相談件数 H14年度 7,420件 H15年度 7,146件 H16年度 8,658件

男女共同参画に関する意識調査「男は仕事、女は家庭」との考え方について



全体では「反対」「どちらかといえば反対」とする否定派が54.9%で、平成9年度の調査以来、初めて5割を上回った。(施設HP 男女共同参画に関する意識調査報告 参照)



「白川文字学」に学ぶ親子ふれあい漢字教室



女性の生涯学習国際フォーラム

福井県生活学習館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	218,417	43.3%
	退職給与引当金繰入	▲ 5,624	-1.1%
	計	212,793	42.2%
物にかかるコスト	物件費	159,385	31.6%
	維持補修費	7,509	1.5%
	減価償却費	101,498	20.1%
	計	268,392	53.2%
その他	公債費(利子)	20,985	4.2%
	その他	2,281	0.4%
	計	23,266	4.6%
合計		504,451	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	4,398,863	固定負債	157,198
投資等	0	流動負債	269,604
流動資産	0	正味資産	3,972,061
計	4,398,863	計	4,398,863



施設の特徴 生活学習館(ユー・アイ ふくい)は、男女が共に参画する社会づくりと、「いつでも どこでも だれでも」学べる生涯学習の推進を図るため、全国でも数少ない女性総合センターの機能と生涯学習センターの機能を有する複合施設として、平成7年7月に開館し、平成17年7月には、開館10周年を迎えました。

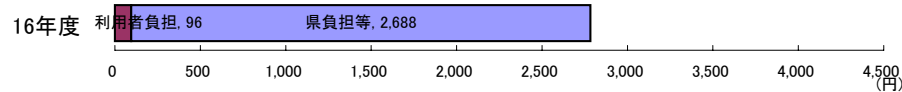
今後の課題 ・これまで利用したことのない方、特に若い世代、男性、家族ぐるみでの生活学習館利用と学習活動への参加促進
 ・男女共同参画社会の実現のため、地域のリーダーの養成
 ・家庭、地域教育力の向上を支援するため、家庭教育や地域のリーダーの養成

(単位 千円)

収入	利用料等収入	17,460	3.5%
	その他収入	6,063	1.2%
	一般財源	480,928	95.3%

利用料等収入計	17,460,000 円
利用者1人あたり平均利用料	96 円
利用者1人あたりコスト	2,784 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



今後の事業方針 ・近年、少子化や結婚に関する問題さらには子育て対策など身近に多くの問題が出てきており、また、長寿社会を迎え、年齢を問わず学び続けることや生涯にわたり社会に役立つことが一層重要になっています。県民一人ひとりが元気で夢の持てる福井県を築いていくためには、男女が互いに共立し責任を分担し、個性と能力を十分に発揮できる社会を実現することが必要です。こうした社会の実現に向けて、生活学習館が様々な情報と魅力ある機会を提供する場として、多くの県民の方に利用してもらえるよう努めていきます。また、男女共同参画を推進する地域リーダーや生きがいづくりなど生涯学習活動の指導者の育成を行います。

取組み内容 ・来館者の利便性の向上(フレンドリーパスの運行など)
 ・行事案内の充実と早めの広報(新聞とインターネットによる行事と講座案内など)
 ・リーダー養成講座の充実(生涯学習ボランティア講師養成講座、県民講師「友愛塾」支援、男女共同参画に関する講師養成講座など)
 ・時代の要請に即応した講座の開設(女性のチャレンジ支援講座など)

また、平成17年度は、当館のこれまでの10年間の歩みと、更なる女性の社会参画支援および生涯学習活動の推進拠点として、新たに出発することを県民に向けて発信するため、開館10周年を記念した「ユー・アイふくいフェスティバル」を平成17年7月1日から3日間開催しました。また、11月には「男女共同参画グローバル政策対話福井会議」を開催するなど、これまでも増して新しい企画や事業、また、講座内容の充実を図り、県民に親しまれ、気軽に利用されるように努力していきます。

バランスシート、行政コスト計算書の特色

- ・有形固定資産のうち、建物が3,915,475千円と89.0%を占めています。
- ・男女共同参画の推進および生涯学習の推進の事業実施のため、人にかかるコストの割合が高くなっています。
- ・生活学習館主催の講演・講座の受講や情報ルームの利用は無料であるため、利用者1人あたりのコストに対して1人あたりの平均利用料は低くなっています。

